



発行所  
日本聖公会 東北教区  
仙台市青葉区国分町2-13-15  
TEL 022-223-2349  
FAX 022-223-2387  
URL <http://nssk-tohoku.com/>



東日本大震災 メッセージ  
国破れて山河あり  
山河破れて  
主教 ヨハネ 加藤 博道

2019年に96歳で逝去された日本文学者・文芸評論家として知られるドナルド・キーン氏のテレビ番組を見ていました（NHK「あの人に会いたい」）。東日本大震災以後に日本に帰化したことでも知られています。番組の中の言葉から。

「国破れて山河あり」という言葉がある（中国の詩人・杜甫）。しかしこの大震災を経験した今、山河も破れてしまうことをわたしたちは知ってしまった。そのあとに残るのは何か、それは「言葉」「文学」である。そういう内容で「文学者として」「文学が残る」というのは理解できませんが、わたしはそれを聞きながら、やはり「草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ」という『イザヤ書』の言葉を思い起こさ



ずにはいらられませんでしたが、確かに山は崩れ、河は流れを変えてしまうことが起きています。美しい田園風景もかさ

上げられ、よく言えばきれいに、別な言い方をすればとても無機質にアスファルト舗装された風景が見渡す限り東北の太平洋岸に広がっています。

「山河も破れる」のです。詩編にも「地が姿を変え、山々が揺らいで海の中に移るとも」という言葉が見られます。しかしそれは「わたしたちは決して恐れない」という信仰告白と結ばれているのですが。

残る言葉とはどういう言葉なのでしょう。この経験を語り継ぐ訥々とした一人一人の言葉なのか、祈りなのか、聖書の言葉、信仰の言葉かも知れません。この大震災以降に、記録的な文書から物語、思想的な書物まで実に多くの言葉、文字が書かれ、「震災関連本」という言い方さえされています。

一つ具体的に言えば、現在被災地各地でさかんに行われている「語り部」の活動もあるでしょう。震災当時子どもであった現在の中高校生たち等、若い人も語り継ぐことに取り組んでいます。言葉で伝えることも決して簡単ではないでしょう。かさ上げされ整地されたアスファルトの広がりを見ながら、そこにあつた自然と人々の生活、そしてそれを一瞬で奪い去った出来事を思い巡らすことは容易ではありません。

ません。しかしそれでも被災地各地で整えられている記念の碑や震災遺構、そこで展開されているもろもろの働きには、ぜひこれからも触れていただきたいと思えます。

大震災発生から9年目の日を迎えます。そして10年目の日へとまた向かっていきます。政府主催の記念式典も10年で区切りをつけると伝えられています。しかし10年は一つの節目ではあっても「区切り」をつけてはならないと思えます。むしろ思いを新たに、ただし東日本大震災だけではなく、その後今日に至るまで発生し続けた各地での災害、日本全体の問題である原発事故のこゝと、エネルギー問題をはじめわたしたちの、そして日本の生き方のことをさらに深く思い巡らす旅が始まらなければならぬと思うのです。本当にわたしたちは次の世代に何を伝えるのか、良いものを残すことが出来るのか、危機的などころにわたしたちは立っています。

（磯山聖ヨハネ教会牧師）  
（写真：釜石市鶴住居地区防災センター跡地碑）

# 東日本大震災 被災者支援プロジェクトの働き

司祭 フランシス 長谷川 清純

現在のプロジェクトメン

バーは加藤主教(リーダー)本年3月末まで、赤坂聖矢(仙台)、梅津庸子(仙台)、佐藤由美子(仙台聖フランシス)、渡部正裕(同)と私です。昨年春制定した運営規程に則り活動し、新たに作成したパンフレットとポスターを全国に配布しました。オフィスは教区事務所内から仙台聖フランシス教会の一室に移しました。毎年のように、私たちの活動をいつまでするのが議論になります。「忘れないで」という被災された人たちの声を聞いている者としては、やはりそういう方々が一人でもおられるからには止めるわけにはいかない、その意見が勝ります。さらに2019年一年間に全国から約70万円の献金が寄せられています。経費支出が収入を上回ってはいませんが、尊い献金は絶えません。むち打たれる感です。

顔と顔を合わせ、繋がりを

生んで関係する人となった者同士の親交も終

わることはありません。新地町で行っている月1回の「広畑お茶会」は来年には第100回目を迎えます。「水曜喫茶」お買い物支援」は常連さんに喜ばれています。昨年被災地を訪問された人たちは、九州、中部、東京から、また日本基督教団被災者支援「東北ヘルプ」の放射能問題支援対策室「いのり」の方と医師でした。

他方、東北内の皆様で、被災地に行きたくても交通手段や行き方が分からない、あるいは一人では訪れられない人たちのために、被災地の現在を知るための大切さから「被災地巡りツアー」を企画・実施しています。第4回は気仙沼方面、第5回は盛岡聖公会の協力を得て釜石市、特に鶴住居また大槌町を、第6回はカトリック・カリタス南相馬スタッフのガイドにより、小高地区、浪江、富岡、大熊を訪ねました。

2019年5月に仙台市を

会場に開催された「日本聖公会原発のない世界を求める国際協議会」に、スタッフとしても協力しました。私たちが活動する時に直面する原発と放射能に関する学びを深めるため、「原発のない世界を求める国際協議会」声明と相澤牧人司祭の発題文書を読みあいました。本年6月の日本聖公会第65(定期)総会で「原発のない世界をもとめる週間」が設置されましたら、当プロジェクトは日本聖公会原発問題プロジェクトと協働して、学びや取り組みの提案をしていくことになりました。

去る1月11日、主教座聖堂にて映画「福島は語る」の上映会を開きました。原発事故被災者の今、言うに言われぬ胸の内が吐露された、これが現実の生の声、お気持ち。私たちは知らなければなりません。目を背けてはなりません。無かったことにしようとする勢力に立ち向かわなければなりません。14人の顔、涙を見、心底から出てきた言葉を聞く必要を感じます。昨年12月に案内済みですが、教区内の教会や幼稚園または関係者では非上映会をしてください。映画監督からDVDをレンタルするスタイルです。その費用は当プロジェクトから援助します(日本聖公会正義と平和委員会原発問題プロジェクトも同様の援助を全国規模で実施します)。仙台で



## 東日本大震災9周年記念の祈り 「同じ時 想いを一つに 皆で祈りを」

日時：2020年3月11日(水)  
午後2時15分より  
※ 磯山聖ヨハネ教会のみ午後1時より  
会場教会

八戸聖ルカ教会、秋田聖救主教会、盛岡聖公会  
室根聖ナタナエル教会、仙台基督教会、  
仙台聖フランシス教会、山形聖ペテロ教会、  
磯山聖ヨハネ教会(午後1時より教会にて  
聖餐式・午後2時半より「祈りの庭」)、  
福島聖ステパノ教会、郡山聖ペテロ聖パウロ教会

の上映会は入場料無料、観客は48名でした。その際、毎月11日に為されている「東日本大震災を覚えて」を挟み、観客は静かに祈り手を合わせました。  
3月11日(水)は東日本大震災9周年記念礼拝が、昨年同様全国各地で持たれます。同じ時刻、同じ式文、同じ聖歌で心を一つに祈りをささげましょう。2021年は10周年記念です。どのように記念するかを継続的に意見交換しております。

## 正義と平和担当者の集い報告

司祭 バウロ 渡部 拓

2月3日(月)から4日(火)に「各教区正義と平和担当者の集い」が実施されました。

第一セッションでは、各教区の特徴ある働き取り組みが発表されました。その中でも特に、教区組織の中に「正義と平和」に該当する部署をはっきりと持っている教区は動きが活発であると思いました。

第二セッションでは上原業正主教からの「教会と社会的な課題」という発題を受けて、短い時間でしたが意見の交換をしました。中でも特に、上原主教が印象的に語ってくださったことが二つありました。一つは「教会は信徒不足、教役者不足、財政逼迫、現実的に様々な問題を抱えている。ともするとその問題だけで手一杯になってしまう。しかしながら、私たちはその上で教会として正義と平和の宣教に努めることは、キリストに従うものとしての責務である。」ということ。もう一つは「近年の世界は、イギリスのEU

離脱といった事象からも理解できるように、皆が自分ファーストに考え動く世の中になってしまっている。そのような状態で真つ先にそのしわ寄せを受けるのは世の中の弱くされた人々である。」ということでした。まさに私たちは上原主教が言うように、教会として困難な時代、正義と平和を宣教することが大変な時代を生きていると思います。しかしながら、今のこの時代に主イエス・キリストがおられたなら、どうしたのだろうか。私たちに何と声をかけるのだろうかということを考えながら、進んでいく必要があると強く感じています。

今回の集いでも、世のままならない現実を強く認識することとなりましたが、同時にそのことに対して小さくても教会は動いているということにも励まされました。私たち東北教区も、できることは多くないかもしれませんが、一つ一つの事柄と真剣に向き合って教区として、教会として、個人として、キリストの器として働いていくことを祈り求めたいと思います。

## アタナシウス 笹森 伸兒 司祭 追悼 ～人に媚びない厳しさと限りない優しさに生きた聖職～

司祭 ピリポ 越山 健蔵



東北にも春の訪れが間もなくやってきます。桜の花をこよなく愛した笹森司祭も天国から笑顔いっぱい地上の変わることに満開の桜を前に、右手はコップ酒、左手には聖書と記したいのですが、期待に反して海洋冒険小説の文庫本、時折桜

るメッセージの原稿を1年間少なくとも主日2日前（金曜日）に提出し、合格点をもらうまで何度も書き直しさせられました。その中で忘れられないのは、何気なく書いた日常イエスを記した原稿に花丸をつけてくれました。自分では最悪の原稿だったのにと思いつつ笹森司祭にどうしてこんなのが花丸ですかと聞きま

に目を細めながら、ご満悦の笹森司祭が目にした。笹森司祭が満面の笑みを浮かべて、語りました。

福音のメッセージは人生訓でもなく、体験からくる生き方でもなく、感話でもなく、聖書を通して主イエスがどう生きたか、イエスの十字架と復活を中心に据えて、イエスの生きざまを、リアリティーをもって今に伝えるのがメッセンジャーの務めだよと言わ

浮かびます。

笹森司祭には私生活から、聖職道にいたるまで、厳しく、時には優しく手取り足取り、小さな親切大きなお世話と思えるぐらい指導を受けました。伝道師時代は礼拝で語

れたことは、今もこれからも私の教役者たる根底にあります。

笹森司祭の礼拝に対する厳しさは他に類を見ません。祭壇・聖具の位置が1ミリずれていても、しわが少しでも見えたら、聖布にアイロンがきちんとかけられていなければ躊躇なく呼ばれてやり直しが入りました。全てはイエス様に仕えることを第一にしていた。

朝の礼拝から夕の礼拝まで一緒に伝道師時代の生活でもありました。お昼は、奥様の陽子さんが留守の時は食事が期待できません。司祭自ら調理場に立ち、定番の12時定刻のそうめんランチでした。もう飽きるくらい連日そうめん、そうめんでした。誰もが認める陽子さん抜きには笹森司祭の人生は語ることはできません。世界で一番、イエス様の次に笹森司祭がこよなく愛した陽子さん、毎日天国から、陽子、陽子と呼びかけながら見護っていることと思えます。最後に病室で笑顔いっぱい手を振ってくださいました。笹森司祭の慈愛に満ちた姿が忘れられません。感謝

### 東日本大震災 被災者支援プロジェクト

#### 【1月の活動報告】

定期的なプログラムの広畑お茶会は1月17日に、水曜喫茶は8日と22日に開催。名取の大型ショッピングモールへのお買い物支援も毎週木曜日欠かさず行われています。

今月は11日に映画『福島は語る』（土井敏邦監督）の上映会を仙台基督教教会・主教座聖堂にて行いました。教会関係者、一般の方を含めて48名が参加。登場する14人の原発事故被災者の方々の顔が画面いっぱいクロースアップされ、それぞれの胸中が赤裸々に語られていきます。聴衆の多くも涙ぐみ、強い印象を受けられた様子でした。11日ですので約170分の上映時間の間、午後2時46分の前後に祈りと黙祷の時を持ちました。さらに全国の教会でも鑑賞いただけるようお勧めいたします。9年目の3月11日が近づいており、その呼びかけと式文を教区と管区のホームページに載せています。

### 常置委員会報告1/17開催

#### ■主教諮問事項

(1) 信徒奉事者推挙  
大館聖パウロ教会から推薦された2名の信徒奉事者について適当と認め推挙。

(2) 管区総会提出議案（主教会）「日本聖公会法規の一部改正する件」について  
宣教体制の見直しと教区再編に向けて提出予定の法規改正議案について主教より説明、意見交換。

#### ■協議事項

(1) 教区事務所の拡張申請について  
常置委員会としては適当と認め、仙台基督教教会委員会との協議に進むことを承認。

(2) 白河基督聖公会土地売却残金について  
残金9,332,557円

について、宣教強化資金に繰り入れることを決議。

(3) 執行機関諸グループのメンバー・リーダーの変更について  
定年退職、転籍に伴う教役者異動により、リーダー、メンバーの変更について協議。

# サムエル 秋山 久之 司祭さん ありがとう 主教 ヨハネ 佐藤 忠男



しさが込み上げてきました。  
秋山司祭さんは、お体は丈夫な方ではなく、病苦と戦いながらの牧会でしたが、それでも神さまの示された道を一途に歩み徹され、82年のご生涯を終えられたことに衷心より

のかと、その律義さを思った途端、どっと哀

と済ませてから逝ってしまわれた

元旦の朝に届いた年賀状の中に、秋山司祭さんご夫妻からの一通がありましたので、お元氣のことと思いい嬉しかったのですが、それから一週間後に届いたのは、秋山司祭さんの訃報でした。年頭の挨拶

か。或る聖職会での懇親会の時  
間でのことでした。秋山司祭さんがマイクを持って立ち上がり、いつもの殆ど聴き役でしたので、これはとても珍しいことでした。歌った

たりはしませんでした。初めの頃は、カメラの距離計などを使つての周到さでしたが、これはお父様が建築士だったことに因つていたのでしようか。

くから飛び交つても、それらの声によつて、シャッターを押す加減を左右され

のきちんとした配置におさまらないうちは、『はやく撮つて』『そんなに吟味しないで適当で良いから』等の声がい

りの敬意と感謝を表したいと思ひます。  
秋山司祭さんは、あまり喜怒哀楽を面てには出しませんでしたが、意志の強さを秘めていました。集合写真を撮る折には、秋山司祭さんはよく撮影者でしたが、左右上下

み許でまた会いましょう。  
秋山司祭さん、長い間ほんとうにご苦労さまでした。そして、ありがとう。神さまの

歌い終わった秋山司祭さんに触発された私は「傷だらけの人生」を唄つて抒情の世界に殴り込みをかけたつもりでした。もう30年も前のことですが、昨日のことのよう

目立たぬように、はしゃがぬように似合わぬことは無理をせず人の心を見つめつづける時代おくれの男になりたい

さかなは特に、こだわらずマイクが来たら、ほほえんで十八番を一つ歌うだけ

のは抒情歌謡の「北上夜曲」でした。楽しそうに、しかし心を込めて歌っている秋山司祭さんの横顔を見ながら、私は河島英五の「時代おくれ」の歌詞の中に、秋山司祭さんを重ねて見えました。その歌詞の一部は次のようです。  
「一日二杯の酒を飲み



(山形聖ペテロ教会・チャンセル)

## 礼拝堂探検隊

礼拝堂にあるいろいろなもの、その意味を調べてみました。

### (第7回 聖書台・説教壇①)

っている所)から少し会衆席の方に張り出している聖書台と説教壇を見てみましょう。  
その前に、チャンネル(cancelus)とはラテン語のcancellus カンチェルスに由来する言葉で、「格子戸」と言う意味です。それはネイブ(身廊・会衆席部分)とチャンネル(内陣)の境に格子戸があったことからきているそうです。この「格子戸」は日本聖公会ではほとんど見られませ

今回は会衆席の奥、チャンネル(内陣)祭壇や司式者席等がある一段高くな

が祭壇用祈祷書を恭しく左側に移動させていました。その後、司祭は祭壇中央から左側に移動し、そこで会衆の方を向いて福音書を拝読していました。(つづく)  
(教区主教)

ながら、山形聖ペテロ教会と北関東教区の日光真光教会に残っていました。  
さて、多くの教会では聖書台は祭壇に向かって右側、説教壇は左側に置かれています。また現在の山形聖ペテロ教会のように、聖書台と説教壇の機能を兼ねた聖書台が、中央に置かれている教会もあります。  
伝統的には祭壇に向かって右側を使徒書側(Epistle side)と呼び、左側を福音書側(Gospel side)と呼びます。  
朝夕の礼拝をはじめとする諸礼拝で、聖書は一般的に右側の聖書台で朗読されます。しかし、文語祈祷書の聖餐式では、右側の聖書台で使徒書が読まれた後、昇階唱か聖歌を歌っている間に、サーバー



### 八戸聖ルカ教会

新年はいつも、教会と日曜学校合同の餅つき会が行われます。今年は、大人と子ども合わせて51名の参加者で大盛況。杵も大人用と子ども用を準備し、「ヨイシヨイ、ヨイシヨイ」のかけ声で、一人ずつの餅つき体験。その後、各自丸めたお餅を雑煮やきなこでいただき、終版は日曜学校の先生の手作りあんこ餅に舌鼓を打ちました。

### 盛岡聖公会

去る1月15日に上棟式の祈りを捧げ、いよいよ2月末の牧師館と仁王幼稚園の園舎の完成を待つばかりとなりました。

ここまで来る道のりは決して平坦な道ではありませんでした。しかし、牧師を始め、教会信徒と幼稚園関係者

の強い思いと祈りで成し遂げられたと思います。

東北教区の皆さんと全国の皆さんに感謝しつつ、工事の無事完工をお祈りください。

### 秋田聖救主教会

#### ◇クリスマス礼拝・祝会

12月25日にクリスマス聖餐式をお献げし、礼拝後は幼稚園児親子や日曜学校生保護者の方も参加して祝会が開かれました。メインは秋田市内で英語教室を主宰しているスパイビー・マーティンさんがクラリネット演奏をご披露ください、祝会最後には「きよしこの夜」の1節の歌詞を最初に韓国語、次いで英語、そして最後に全員で日本語で歌いご降誕をお祝いしました。

### 仙台基督教教会

昨年11月より、月に3〜4回のペースで仙台基督教教会のFacebookを更新し続けています。建物としての教会に入るのには難しくても、まずはweb上で開かれた教会に来て頂こうというコンセプトで頑張っています。

そのほか定禅寺通り側に掲

示板を設置しました。お陰で当教会に来て頂く方が少しずつ増えてきています。

また3月は2名の方が洗礼を受けられ、新しい家族が増えます。このお恵みに感謝です。

### 米沢聖ヨハネ教会

11月も第3・第4主日は吉田主教・渡部司祭の聖餐式。時々、小2の千風ちゃん父子が参加、笑い声が満ちます。

12月15日、仙台から千葉夫妻が来訪。21日はグレゴリオ聖歌とバロック・フルートのコンサートに、市内の方々約30名が来聴。22日は24名でクリスマス礼拝。恒例のハンドベルを味わい、祝会では大きなケーキを分かち合い、未信徒の方々と交えた楽しい時が与えられて、感謝。

1月19日には被献日の日課を学ぶ。

例年クリスマスイブには降る雪が、今年は1月末までゼロでした。

### 郡山聖ペテロ聖パウロ教会

昨年11月から、教会のセントポール会館で「聖書と経営

勉強会」をスタートいたしました。きっかけは、教区の「ミッシェンステートメント」です。Facebookで情報発信したり、地元FMラジオに出演したり、現在はPR活動に努めています。勉強会は、毎月第2日曜、朝8時からです。毎月1回のペースで続けてまいりますのでよろしくお願い致します。

### 小名浜聖テモテ教会

信徒の高齢化は、当教会にとっても世代交代が期待されるところですが、若い世代はなかなか教会の門をたたくくれません。教会が成長発展するために教会は伝統を重んじつつ変わることを恐れず前に進みましょうとの、掛け声のもとそれぞれが喜びをもって奉仕に努めています。

幼稚園は宣教の両輪です。でさらに関係を深める努力を幼稚園の先生方にも協力をお願いしております。



### 永遠の平安

ヨセフ 新妻 卓逸  
(11月29日・仙台)  
リベカ 安部 和子  
(1月30日・仙台)  
ルツ 高橋 千恵子  
(2月7日・仙台)

3月逝去者記念聖餐式  
3月3日(火)午前10時  
於 主教座聖堂  
司式 吉田 雅人 主教  
説教 吉田 雅人 主教

司祭 ペテロ 山本 秀治  
1978年3月3日逝去  
司祭 パウロ 村上 秀久  
1974年3月12日逝去  
宣教師 Miss Flora M. Bristowe  
1942年3月13日逝去  
司祭 パウロ 林 由三  
1970年3月15日逝去  
司祭 サムエル 植松 謙爾  
1978年3月19日逝去  
司祭 テモテ 佐藤 光道  
2016年3月23日逝去  
\*\*\*  
3月1日は「聖公会生野センターのため」の主日です。  
大阪市生野区で地域と共に歩む働きを覚え、献金をお献げください。